

From the
People of Japan

セネガルにおける社会的保護の強化と 社会経済的不安に対する回復力の向上を通じた 優先自治体における人間の安全保障の強化



予算：500,000 米ドル



実施期間：12カ月

開発課題

セネガルは、近隣のマリ、ギニア、ギニアビサウ、ガンビア、モーリタニアとの国境地帯に貧困が広がっている。これらの国境地帯では国家のプレゼンスが弱いため、基本的な設備やインフラに大きな格差が存在する。さらに、国境地帯は農村地帯が多く、農業、畜産業、漁業、林業に経済的に大きく依存している。これらの部門は、干ばつ、熱波、暴風、洪水など、気候変動の悪影響を目の当たりにしている。

セネガルは、国の社会経済開発政策である「PSE-Plan Sénégal Emergent」、国の社会経済発展政策を通じて、この不均衡を理解し、国境地帯のインフラを強化するためにPUMAを実施しています。

しかし近年、同国の東部および南東部の国境地帯は、過激派グループの拡大による治安の悪化にさらされている。さらに、COVID-19コロナウィルスの大流行による危機は、ただでさえ貧しい地域社会の貧困と脆弱性をさらに悪化させた。こうした状況は、不満や排除の感情、農村からの脱出、移民、特に若者の過激化につながることが多い。

プロジェクトの目的

5つの優先的な自治体におけるレジリエンスを強化し、災害への備えをサポートする社会保護プログラムを導入。貧しい世帯への影響を軽減し、リスクの低減と予防の取り組みを支援し、影響を受けた世帯に適切で迅速な救援を提供。
再建と回復の過程でのより良い再構築の取り組みを補完。

女性、若者、その他の社会的弱者（障害者、移住者、寡婦）のために、コミュニティに根ざした所得創出活動、雇用創出、ビジネス、中小企業の実現

自治体の政策策定において人間の安全保障の概念を主流化し、コミュニティの参加を促進し、平和で公正で包括的な社会を形成。自治体の関係者や国境の法執行機関のガバナンス、法の支配、平和、安定性の能力を強化し、人間の安全保障へのアプローチと地域ガバナンスとコミュニティ間のインターフェースを強化。

プロジェクトの成果

5つの優先自治体におけるコミュニティの回復力は、社会保護プログラムによって強化。

5つの優先自治体における女性、若者、及び脆弱なグループは、社会経済的なエンパワーメントを増加させるためのコミュニティ活動から恩恵を受ける。

自治体当局は、住民の感じる不安感を和らげ、平和で公正かつ包摂的な社会を実現するために、人間の安全保障を地域レベルで主流化する手段と能力を有している。

パートナーシップ

PUMA - 国境地帯の主要道路および地域の緊急近代化プログラム
ACMU - 医療保障庁 (CMU)

SDGSへの貢献

